

忘れ、國民を無視する憲法制定に傾倒された財閥資本主義の獨裁政治である。従つて外は滿洲事變を中心として國際的風雲の重大化に對し、眞に日本の國家、國民の立場に立つ正義外交の抱負も勇氣もなく徒らに混迷追従の無定見を曝露して當面を糊塗するのみである。内には國民窮乏打開の對策なく一切の亡國の危機の根本原因たる資本主義の最後の延命に狂奔するのみである。即ちかかる二大ブルジョア政黨の非國家性非國民性こそ、明日の健全なる新日本建設の爲に打倒擊滅されねばならぬ亡國政黨の正體である。

一方無產政黨は如何、共產主義政黨にせよ、社會民主主義政黨にせよ何れも公式的の偏狭なる階級觀念に固着して、マルクス・レーニン主義の議論に日を暮らし、國家的立場を無視する空想的國際觀念の清算脱却不可能の爲に益々國民の大衆的支持を失ひ双葉にして其の發展性は枯死状態となり非力なる既成無產黨による政權獲得は、文字通り日暮れて尙道遠しである。

吾日本國家社會黨こそ、かかる階級政黨の非國家性、非國民性の誤謬を清算し、眞に明日の新日本建設實現の正しい指導力を持つ國民政黨として、國家非常時の根本打開のために結成されたものである。祖國日本の危機が生んだ歴史的必然の國家社會主義指導精神として自然として生れべくして生れたる昭和維新前夜の征途に立つ正しき政黨は、吾日本國家社會黨である。

一君万民の國民精神とは何か

吾黨の綱領にある一君万民の國民精神とは、吾國傳來の君主制を最も適正なる社會生活上の國家形態と信奉する精神である。その發生は必して支配階級に強要されたる奴隸的な精神であつてはならぬ。何故に吾黨が自主的に一君万民の國民精神を信奉するかの理由は、マルクス主義と根本的に對立する吾黨の國家に對する觀念の解説によつて明白なるものである。マルクス主義は國家を歴史的にも、現實的にも、單に搾取機關と見る階級國家論に立脚してゐるので、マルクス主義の社會主義者一味は國家の死滅を目的としてゐる。然しながら國家の死滅の上に立つ人類の社會生活の如きは、吾々が考へ得るかぎりには、全くは空想的幻影である。

吾黨は、未來の人類生活に於ても、國家は必要欠く可らざる人類生活上の一形態であると確信する正當なる國家觀に立つ社會主義の立場から、マルクス主義の國家死滅論の空想的階級國家論を排撃して、純正なる統制力としての國家權力の確立の爲に、國家發生の必要價值を無視する搾取機能の廢絶をなし、金權支配のブルジョア獨裁は勿論、更にブルジョア獨裁に代つてプロレタリア獨裁の實現を計らんとする共產主義に絶對的に反對して、一階級の獨裁を介在せしめぬ純正無二の國家機能の確立することを黨の目的とする。

吾黨の實せんとする純正無二の國家機能の確立は、吾國傳來の一君万民の國民精神の徹底によつて獲得し得るものである。吾國體の中心をなす不變不動の天皇制の下に、國家の理想實現に障害を與へる一切の反國家的制度及思想を廢絶し、一君万民の國民精神に基き新日本の建設こそ吾黨の目的とする純正無二の國家機能の確立である。即ち純正なる支配統制力としての國家權力を承認して、その正しい歴史の現實的の國家觀の究明により、吾國傳來の天皇制の絕對價值を再認識することによつて信奉されるものが、吾黨の綱領に明記された一君万民の國民精神である。従つて正しき國家觀から天皇制の絕對價值を認識したものでない利用主義一味、反動國粹主義者等に對して吾黨は絶對に反對の立場にある。

吾黨三大主張の解説

一、吾黨は、戰國的國民運動によつて、現在の金權政黨たる反國家的私黨の政友會、民政黨を撲滅して、黨の綱領の實現をなすもので、議會闘争も、選舉闘争も、活潑に行ふが、それは一大國民運動結成のための闘争であつて、社會民主主義政黨の如く議會主義によつて新日本建設できるかと考へる反動的な無力政黨ではない。又吾黨の國民運動は秩序と規律によつて統制されたる公然たる大衆運動の形態によつて行はれるもので、無統制なる暴力主義を排撃し一君万民の皇道政治の徹底の爲に眞に捧身の闘争をなし、亡國政黨を打倒紛砕して、金權支配を廢絶せる政治機構の確立を期せんとするものである。

二、吾黨は、一君万民の精神に反する反國家的資本主義機構を打破して、搾取を廢絶せる國家機能を経済的に確立して、國民生活を保障をなす、即ち資本主義の基礎をなす私有財産の無制限の支配力の上に立つ利己的經濟を統制する國家社會主義による國家統制經濟の實現こそ、現在の國民窮乏を打開する新しい經濟機構であると確信するものである。國家社會主義は、私有財産の全廢を主張するものではない、原則として土地及び資本の公有を要求し、産業、貿易の國家的統制によつて國民經濟を調節して、單に分配の劃一的均等でなく、國民の勤勞の種類と、生活の必要に應じて公平に生活資料を配給し、國民的奉仕力を向上せしむる經濟機構の實現を目的とするものである。

三、吾黨は眞の世界平和の實現は資源衡平、人種平等を原則とする國際正義の貫徹にありと信する。従つてあらゆる國民は、其の生存資源に於て人口を基礎とする平等の權利を有し、過分の資源と土地を占有する國民は、過少資源國民に門戸開放をなすべきである。例へば過少資源國たる日本國民の滿洲資源に對する防衛的行動は、歴史的にも現實的にも適當なるものである。吾黨は更にアジア民族に對する歐米強大本主義國の壓制と搾取の不當に對して、アジア民族の全的解放を期し以て正しき世界平和實現の新しい國際同盟の提唱要求を吾が日本國際的使命とするものである。

亡國資本主義・亡國ブルジョアファッショ・社會民主主義を撲滅せよ

日本國家社會黨 大演說會

午後七時ヨリ 要會費金二十錢

辯

本部中央執行委員

士

同

同

山名義鶴
今村盛等
安藝
小池四郎

八幡支部

創立大會

日時 七月十三日 午後七時
場所 中央區 旭 座

午後五時ヨリ七時マデ